



JCS 40周年 1983 ▶ 2023

40

Jan-Feb 2023

シドニー日本クラブ (JCS) は、オーストラリアに住む日本人・日系人家族の親睦を図り、オーストラリア社会の一員として日本文化の定着と維持に努め、他の諸民族の人たちとの相互理解の向上を図ります。



**新年の挨拶 ● 徳田総領事・コステロ会長
JCS創立40周年記念イベント
キラリと光る ● 山田航さん**



シドニー日本クラブ名誉会長
在シドニー日本国総領事 徳田修一



シドニー日本クラブ会長
コステロ久恵

昨年9月に在シドニー総領事に着任した徳田修一でございます。2023年の最初の「JCSだより」の発行にあたり、御挨拶申し上げます。

皆さま、それぞれに良い新年をお迎えになられたものと思います。本年もどうぞよろしく願い申し上げます。

私自身、着任以来、名刺入れがいっぱいになるほど多くの方々とお知り合いになることができ、おかげさまで忙しいながら順調に仕事を開始できました。心から御礼申し上げます。

日本とオーストラリアとの関係は極めて良好で、上昇気流の中にあると感じます。昨年10月のパースでの首脳会談において、両首脳は、幅広い分野の協力を確認する共同声明と、安全保障分野の協力を一段と高みにあげる内容の共同宣言を発表しました。日本とオーストラリアは、基本的な価値を共有し、互いに自然な形で相手を必要とし合う、信頼できる同志国の関係にあります。

日本から訪問される皆さまは、コロナと共生する形で普通に生活されている当地を新鮮に感じられるようです。私自身、そうした「普通」に戻った時期に着任できたことを幸運に思います。私が所管するニューサウスウェールズ州や北部準州の政府・議会関係者との面会や、多くの経済・文化・学術・芸術関係の行事も、「普通」に行うことができています。引き続き、日本の皆さまの活動を総領事館としても応援してまいります。そして、邦人の皆さまが安心・安全に暮らせるよう、快適な領事サービスの提供を続けてまいります。幸い、大きな事件・事故はシドニーでは発生しておりませんが、油断せず、気を引き締めて対応してまいります。

着任以来、多くの地方訪問の機会を頂きました。カウラ、パースト、ニューカッスル、キャンベルタウン、ダボ、ダーウィン、いずれも日本とゆかりのある、あるいは姉妹都市関係のある街です。交流事業に取り組んでこられている多くの方々に敬意を表しつつ、国民間交流の大切さを実感したところです。

引き続き当地における日本のプレゼンスを高めていくよう力を尽くしてまいります。本年も皆さまと一緒に仕事をしていくことができれば望外の喜びです。

2023年が皆さまにとり幸多き年となることを祈念いたします。

会員の皆様、あけましておめでとうございます。

今年、シドニー日本クラブ(JCS)は、おかげさまで創立40周年を迎えます。1983年に初代会長の保坂さんがJCSを設立して下さり、現在、私は10代目の会長を務めさせていただいております。このタイミングに会長をさせていただき、大変喜ばしく嬉しく思います。今年は40周年記念イベントを催していきますので、是非、多くの会員の皆様にご参加いただき、素敵なイベントにしていきたく思っております。

まず第一弾として、3月12日(日)に「キャンベラ日帰りバスツアー」を企画しています。山上駐豪日本大使公邸にもお邪魔させていただき予定になっております。5年ぶりのJCSバス旅行となりますが、今からとても楽しみです。

4月28日(金)には、シドニー市内Royal Automobile Club of Australiaにて、「JCS40周年記念レセプション」を行います。歴代の会長の皆様にもお越し頂き、当時のJCSについて語っていただこうと思っております。JCS名誉会長である徳田在シドニー日本総領事ははじめ、キャンベラから山上大使ご夫妻も駆けつけてくださる予定です。皆様と一緒に記念すべき40周年のお祝いをさせていただきます。

毎年、桜まつりや慰霊祭でカウラ市を訪問する9月には、とても素敵に桜が咲いており、感動させられます。JCSでは、40周年記念イベントの一環としてカウラ市に桜の木を寄贈することを決めました。JCSの桜が永遠に素敵に咲いてくれることを祈願して、4月に「桜の植樹式」を行う予定です。

JCSがこれまで歩んできた40年間は、歴代会長をはじめ理事の皆さんがボランティアで本当に頑張って活動して下さり、JCSを築き上げて下さいました。皆様に深く感謝いたします。

会の活動を通じて日本文化を多くの方に知っていただきましたが、なかでも「日本の祭り」はかなり定着してきたと思います。ここ数年、コロナの影響でイベントが中止されましたが、昨年9月のチャッツウッドの日本の祭りでは多くの方にご来場いただき大盛況でした。引き続き皆様のご協力を賜りながら日系コミュニティーを盛り上げてまいりたいと思います。どうぞ宜しくお願い申し上げます。

本年も会員の皆様が安全かつ健康に留意されて、飛躍的な素晴らしい年となりますことを祈念いたしまして、新年のご挨拶とさせていただきます。

先月の理事会から

◆2023年JCS40周年事業計画案

○キャンベラの日本国大使公邸訪問バスツアーの日程を担当者と調整中。2023年1月25日発行の「JCSだより」1・2月合併号で会員への告知を行う。

○カウラへ桜の木を寄付&記念植樹(4週間前の通知) 4月15(土)・16(日)に予定。コストロ、水越、斉藤、リヒター、渡部が参加予定。

○40周年記念懇親会を4月28日(金)午後6時からの夕食会に変更。12月21日に下見を行う。会場はRACA。

◆JCS書類の廃棄について

前会計担当者より、保管しているJCSの書類を業者に処分したく問合せがあったので、堀田理事が前会計担当者から受け取り、処理することに決定。

◆総領事館より

12月8日午後6時半より総領事公邸にて、JCS理事の代表者と総領事との懇談会が行われることの確認。

◆その他

○ソフトボール大会報告

コストロ会長と、水越副会長が応援。JCSのTシャツをユニフォームとして提供したい。

○来年度の対面の理事会のため、2月1日、4月5日、6月7日(選挙)、7月5日(開票)、8月2日(総会直前)、9月6日(祭)、10月4日、12月6日の19~21時、並びに総会を8月12日3~4時(親睦の会の後)にドカティセンター予約完了。

○親睦の会が2月11日新年会(おせち御前)を予定(12時~)

●2022年12月定例理事会 11月30日 7:30~9:30pm (Zoom)

出席:野田領事、コストロ、水越、松隈、リヒター、林、マーン、ホジュキンソン、多田、斉藤、堀田、フォード(今回が最後)、渡部

欠席:チャーカー、阿部、川上、小柳

●会員世帯数:368世帯(一般83世帯・学校285世帯)+法人会員1社

●次回理事会:2月1日(水)19:00より(対面+Zoom)

◆学校からの報告

◎教育支援委員会

有意義な研修会を行うことができた。

◎シティ校:14クラス、生徒数224名、156世帯

今年の授業も残すところあと2回。来年に向けてのクラス編成、運営委員(委員、サポート係)も決まりそれぞれが着実に来年に向けての準備を進めている。最終日の12月10日は、終業式、卒業式を行う。ここ数年、コロナの関係上全校生徒が集まって行うことができなかったが今年は、全校生徒で卒業する3名の生徒を送り出すことができる。来賓としてして徳田総領事にお越しいただき祝辞を述べていただくことが決定した。

今年も教員、アシスタント、委員、サポート係、保護者のご協力により無事終業することができることに感謝です。引き続き皆様の協力を得て向上のある学校を目指していきたいと思います。幼児部クラス教員急遽必要。

◎ダンダス校:10クラス、127名、85世帯

4学期も終わりが見えてきて、各クラス校内発表会へ向けての準備を進めています。中止が続いた後の3年ぶりの発表会にむけて、子供たちも保護者も期待を高めています。

鋭意努力して日程を前倒しにし、来年度のクラス編成も完成したものの、船便が受付停止中。来年度教材のオーダーは航空便への変更を余儀なくされましたが、こちらも決定段階です。来年度の担任教員も全クラス分決定しました。2023年度は中学課程のクラスは設置せず、小学部のみ全学年の提供となります。

今年は3人の卒業生を送り出す予定ですが、創立14年で、ダンダス校で全就学期間学んだ子たちが卒業しはじめ、運営委員側としては大変嬉しく感じています。

◎エッジクリフ校:5クラス、62名、44世帯

4学期も12月3日と10日の2回の授業を残すだけです。エッジクリフ校の終業日の楽しみといえばお楽しみ会ですが、コロナ禍で中止を余儀なくされ、ようやく今年は保護者も一緒にこの会を楽しめそうです。この日は保護者に子供たちの学習の成果を見せるよい機会にもなるので、各クラスお楽しみ会で発表する出し物を準備しています。去年は歌や踊り、手品や朗読劇で盛り上がりましたが、今年はどんな発表になるのか今から楽しみです!

来年に向けて、クラス編成や担任の確保など準備を進めています。来年はクラスの増設はないものの、来年の新入学に向けて数名の体験授業もあり、また、いよいよ新学期から国際クラスが復活するなど、なんとか現状を維持しての学校運営となりそうです。

お知らせ

会員更新がお済みでない方

シドニー日本クラブ(JCS)の会員資格は毎年更新されます。会員資格の期間は、毎年1月から12月の1年間です。会員を継続される場合は、年会費(70ドル)をお支払いいただきますが、既に2022年12月31日の入金締切日を過ぎています。会員継続を希望される方は、直ちに年会費のお支払をお願いします。

なお、会報誌「JCSだより」は電子版での配布となりますが、印刷版をご希望の方は、郵送・手数料として別途15ドル(年間)をお支払いください。その場合は、年会費と合わせて85ドルのお支払になります。

振込先は、Japan Club of Sydney Inc.(BSB No: 032-002 Account No: 51-3156)です。振込時に、会員名と電話番号をDescription/Reference欄に入力して下さい。

年会費 + (郵送料) = 支払額 (GST込)
\$70 + (\$15) = \$70 または \$85

2023年 JCS創立40周年記念イベント

第一弾



キャンベラ日帰りバスツアー

日時: 3月12日(日) 6:45am 出発 / 6:45pm 帰着

参加費: \$70(会員)、\$140(非会員)

内容: 駐豪日本大使公邸を表敬訪問し、国立博物館、戦争記念館を見学します。

第二弾



カウラに桜の木を植樹

日時: 4月15日(土) 14時

場所: カウラ

カウラには日豪和解のシンボルとして、関係団体・個人が桜の木を寄贈してきました。

第三弾



創立40周年記念懇親会

日時: 4月28日(金) 6pm~

会場: Royal Automobile Club of Australia

40周年記念のディナーパーティーを、1903年設立の歴史あるRACAで行います。

第四弾



チャッツウッドで日本の祭り開催

日時: 9月9日(土) 11時~16時

会場: Chatswood Mall, Chatswood

今年もシドニー北部チャッツウッドで日本の祭りを開催し、祭りを通じて日本文化を紹介します。

4

キャンベラ日帰りバスツアー参加者募集

日時: 3月12日(日) シドニー出発 7:00am / 帰着 7:00pm

参加費: \$70(会員)、\$140(非会員)

内容: 駐豪日本大使公邸を表敬訪問し、国立博物館、国立美術館、戦争記念館を見学します。

申込み: 事務局までメールで、2月13日(月)までに参加希望をお知らせください。

Email: jcs@japanclubofsydney.org (事務局)まで。

※ツアーにはランチが含まれています。ツアーガイドはいません。見学先は予定です。変更される場合がありますので、ご承知ください。

●バスツアー行程(予定)

07:00 シドニー市内出発

10:30 日本大使館訪問(1時間ほど山上大使と懇談)

12:00 オーストラリア国立博物館内のミュージアムカフェでランチ

13:00 オーストラリア国立博物館を見学

14:00 オーストラリア国立美術館を見学

15:00 オーストラリア戦争記念館を見学

16:00 シドニーに向け出発

19:00 シドニー市内到着・解散



オーストラリア国立博物館



年	JCSの活動とシドニーの日系社会
1983	シドニー日本クラブ設立（初代会長に保坂佳秀）。ダンスパーティー開催。（以後毎年8月にミッドイヤーパーティーとして継続）
1984	シドニー・フェスティバルに日本がゲストカントリーに選出。JCSがオペラハウス前で餅つき大会実施。五木ひろしがオペラハウスでコンサート。
1985	中曽根首相歓迎会を日系三団体で共催。
1986	
1987	
1988	竹下首相夫妻と日系三団体合同の懇親会開催。
1989	
1990	
1991	4州の日本クラブ連合組織「全豪日本クラブ」設立（初代会長に保坂佳秀氏）
1992	紀宮さま来豪。JCS南校設立。
1993	海外有権者の会設立（代表に保坂佳秀）。JCS北校設立。
1994	在外投票制度に関する公聴会。チャリティーボールを開催（三笠宮寛仁親王提唱）し、ロイヤル童児学校に寄付。
1995	カウラ集団脱走事件50周年慰霊祭。この後「さくら祭り」として慰霊祭を開催が慣例に。秋篠宮殿下同妃殿下が来豪。
1996	アジア系移民論争にJCSだよりも記事掲載。
1997	「日豪友好記念の年」として記念行事が開催される。JCSは全豪日本クラブの記念誌出版に協力。
1998	「オーストラリアの日本人」（全豪日本クラブ発行）を出版。JCS創立15周年記念BBQパーティー開催。
1999	The盆踊りinシドニー開催。JCS日本語学校（現シティ校）開校。
2000	Auburnの日本庭園に桜の木を植樹。カウラの桜並木にJCSとして桜の木を植樹。オリンピックにボランティアや応援団として参加。
2001	ノーザンビーチ校が開校。
2002	クリーンアップに日本人会と合同で参加。
2003	5月に創立20周年記念クルーズを実施。
2004	2月に盆踊り大会開催。カウラ事件60周年記念に案内書。
2005	ミッドイヤーパーティーはランテクルーズ。
2006	日豪交流年記念夏祭り開催。日野原先生講演会開催。第1回スピーチコンテスト開催。
2007	夏祭り、BBQ大会、ミッドイヤーパーティー開催。
2008	JCS創立25周年記念加藤登紀子コンサート開催。
2009	JCSが外務大臣表彰受賞。継承日本語フォーラム開催。日本人会と合同クリスマスパーティー初開催。ダンス校が開校。
2010	生活情報セミナー開催。第2回日野原先生講演会開催。日本人会と2回目の合同クリスマスパーティー開催。
2011	東日本大震災被災者支援募金活動、チャリティーオークション開催。日本人会と3回目の合同クリスマスパーティー開催。
2012	ジョーカー会長、宮下前会長が総領事表彰を受賞。日本人会と4回目の合同クリスマスパーティー開催。
2013	JCS創立30周年記念忘年会を開催。子を持つ親のための連続セミナー開催。日本の祭り開催。
2014	カウラ事件70周年記念に案内板を更新。日本人女性健康セミナーを開催。レインボープロジェクトがJCS傘下に入る。
2015	Chatswoodで日本祭り開催。エッジクリフ校開校。
2016	東日本大震災5周年チャリティーイベント開催。JCSレインボープロジェクトと保坂初代会長が総領事表彰を受賞。杉原千鶴シンポジウム開催。
2017	「インクルージョン・アンド・コミュニティ・アプリケーション・アワード」（Settlement Services International主催）を受賞。
2018	35周年記念キャンペラバスツアー、映画「星砂物語」「一瞬来復」上映会、懇親会、ハラマツタ日本の祭り開催。特製エコバック作製。日本語学校が総領事表彰受賞。
2019	カウラ多文化祭に参加。令和日本伝統芸能祭開催。即位礼正殿の儀に参列。
2020	コロナ禍により各種イベントを中止。日本語学校は休校とオンライン授業。「オーストラリアの日本人」電子版を公開。着物Pop-up Shop開催。
2021	東日本大震災復興支援10周年イベント開催。Japanaroo 2021にChatswood日本の祭りを開催。
2022	Japanaroo 2022にChatswood日本の祭りを開催。

今年、シドニー日本クラブ（JCS）は創立40周年を迎えます。1983年の設立から40年…。JCSはもちろん、日豪間にも、世界でも様々な出来事がありました。みなさんにとってこの40年にはどんな出来事がありましたか？本誌では3月号から10回にわたって、4年ごとの出来事をみなさんと共有しよう企画しました。第一回は1983年から1986年の4年間です。この間、WHでオーストラリアに来たという方、英語留学した方、ハネムーンで初めてのシドニーだったという方…など、みなさんの思い出を投稿してください。

是非、みなさんの思い出や体験をお寄せください。
 会員投稿は、jcs@japanclubofsydney.com までお願いします。

ワーキング
 ホリデーで
 旅行したのが
 楽しかった



ハネムーンで
 初めての
 オーストラリア
 最高だった



やっぱり、
 オーストラリアに
 留学して正解だった。
 クラスの仲間はみんな
 どうしているかな？
 元気かな？



結局、
 オーストラリア
 に住み続けて
 良かったわ



移住して
 もう10年に。
 まだ英語が
 心配ね



あの頃は
 楽しかったな
 いまじゃ、
 すっかり
 仕事人間だ



親睦の会 だより

- A地区 (North Sydney以南) 加藤真理 (Tel: 0405-235-365)
Email: marikato777@gmail.com
- B地区 (Chatswood以東) : 朝比奈富美子 (Tel: 9453-0058)
Email: fumikopixie@gmail.com
- C地区 (St.Ives以北) : 朝比奈富美子 (Tel: 9453-0058)
Email: fumikopixie@gmail.com

親睦の会役員

会長: 林さゆり、副会長・会計: リヒター幸子、幹事: 加藤真理、事務局長: ピアス康子
ボランティア: 朝比奈富美子、カーター洋子、斉藤なお子、橋本克子、ファレル道子 (五十音順)

会員募集

シドニー日本クラブ会員の親睦と交流の集いです。和やかな雰囲気の中、和食弁当を食べながらの情報交換後には、様々な趣向を凝らした内容で楽しんでいます。JCSシドニー日本クラブの会員でしたら入会金は不要。年齢・性別・国籍は問いません。ビジターも大歓迎です。新しい輪を広げましょう。お気軽にご参加ください。

新春を寿ぐ新年会

■日時: 2023年2月11日(土) 12:15~14:45

■会場: ドガティセンター

The Dougherty Community Centre
7 Victor Street, Chatswood

■会費: (ワイン・ジュース・お茶・コーヒー・紅茶、会場費込)

親睦の会会員 5ドル

親睦の会非会員 (JCS会員) 10ドル

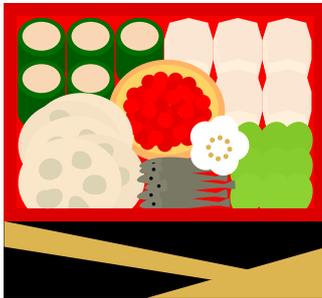
JCS非会員ビジター 15ドル

■お食事代: 特製おせち御膳 55ドル

■申込みメ切り: 2月1日(水)

地区担当者まで出欠およびおせち御膳の注文のご連絡をお願いします。(各地区の連絡先は、このページの冒頭をご参照ください。)

6



過去2年は、コロナ感染症の規制により、余儀なくZoom(ズーム)による新年会となりました。今年は、初顔合わせを楽しみに、賑々しく新春をお祝いしたいと思います。特製のおせち御膳を頂きながら、書き初めや各ゲームなどで、日本のお正月気分を揃って味わって頂きたいと願っております。

ご家族、お友達をお誘いになってお越しください。

■お知らせ

- 3月例会は、3月12日(日)キャンベラ日帰りバス旅行。
- 4月例会は、JCS40周年記念晩餐会をRACAにて開催

2022年12月2日アーターモン駅前のろばたジョーンズにて「年忘れ! お疲れさま和食コース料理」を催しました。今年1年を振り返りながら、役員の皆さんへ労をねぎらい、大いに盛り上がりました。野菜の胡麻和えの前菜から始まったコースは、見た目にも涼しげな氷の上に置かれたお造り、海の幸に山の幸、卵豆腐には色合いよく銀杏も、そして、旨味あふれるマッシュルーム、アルコールも程良くまわった後の鰻重は、それまた絶妙で感激。デザートにはリッチなウエハース添えアイスクリーム。思い出に残る楽しい年忘れの会となりました。



JCSのクラブライフ



シドニーソーラン踊り隊

毎週土曜日に小学校の体育館で練習をしています。

私たちの踊りが少しでも日豪文化交流に結びつくようにと様々なイベントで踊ります。一緒に踊りたい方、大歓迎！お気軽に練習にご参加ください。

練習日：毎週土曜日2時～3時

場所：Cammeray Public School (Palmer Street, Cammeray)

お問い合わせは、Email: jcs.soran@gmail.com まで。

<http://sydneySORAN.wix.com/dancetroupe>



JCSフラアロハ・ハワイアングループ

JCS Hula Aloha Hawaiian Groupは、明るく楽しく美しく、生き生きと生きるをモットーに和気あいあいと踊っています。

楽しく踊って元気になりませんか？

分散レッスンで毎週少人数で練習を再開しています。

ご興味のある方、先ずはご連絡下さい。年齢は問いません。

練習日：毎週火曜日午前11時～12時

場所：Dougherty Community Centre Annex, Chatswood

お問い合わせは、Email : jcshulaaloha@gmail.com 綾まで



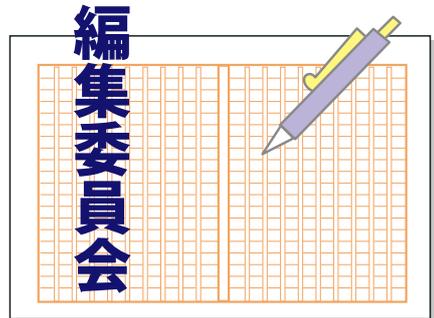
JCSソフトボール部

ソフトボール大会は毎年5月と11月の2回開催しています。今年5月の秋季大会では優勝、11月の春季大会は3位でした。

JCSソフトボール部では女性選手を急募中です！一緒に優勝目指しませんか？家族で応援に来ませんか？興味のある方は是非、ご連絡ください。

メール：ckato@nh-foods.com.au または、

電話：0402-011-198 (ソフトボール部部长 加藤雅彦)



編集委員会

シドニー日本クラブの会報誌「JCSだより」を編集しています。会員からの投稿をお待ちしています。また、誌面作りに興味のある方、一緒に会報誌を作りませんか？

興味のある方は是非、ご連絡ください。

メール：jcs@japanclubofsydney.org または、

電話：0421-776-052 (JCSだより編集長 渡部重信)



教育支援委員会

シドニー日本クラブの日本語学校三校の運営に関する支援を行っています。その他、継承日本語教育についてのセミナー活動なども行っています。

お問い合わせは、以下までお願いします。

メール：jcs@japanclubofsydney.org または、

電話：0421-776-052 (JCS事務局)



JCS日本語学校シティ校 JCS Japanese School City

学校 Ultimo Public School (47-53 Jones Street, Ultimo NSW 2007)

連絡先 PO Box 902, Glebe NSW 2037 電話 0452-141-618 授業 毎週土曜日 / 幼児部: 9:30~12:10、小学部: 9:30~12:15

Email student.city@jcs.org.au Web http://cityschool.japanclubofsydney.org/

日本語環境を維持するために

シドニーの夏らしい夏がなかなか感じられないまま、楽しい夏休みを終えた子ども達の歓声が校舎に戻ろうとしています。この夏休みを日本で過ごしたり、別の国で過ごしたり、オーストラリアでキャンプやビーチを楽しんだり、子ども達の夏の思い出は十人十色。学校で友達と再会した時には、話に花が咲くことでしょう。できれば日本語で話してほしいものですが、少し欲張りでしょうか。

今年もコロナやウクライナ情勢といった、世界情勢が少し不安定な中でのスタートとなります。ただ以前と違い、ロックダウンやオンライン授業などといった心配がもうないのは救いです。長年通っている保護者や生徒にとってはすでに当たり前となっている、週に1回の日本語学校。大事な週末の半日がそれで潰れてしまうのは大変なことですが、そのおかげで子ども達の日本語環境を維持できるのだと思うと、とても貴重な時間です。また、どこか同じようなアイデンティティをもっている友達と様々なことを分かち合うことも、将来必ず何かの支えとなってくれると信じています。今年もまた一年、子ども達の成長を見るのが楽しみです。

8

クラス紹介 シリウス組

年の初めではございますが、まずは日本語学校シティ校の昨年をお話したいと思います。昨年のシティ校は、少しずつですがCOVID前の学校の姿に戻ってきました。これまでの2年間にはできなかった全校あげでの運動会や卒業式が挙行できました。9月には「赤勝て!」「白がんばれ!」と子供達の真剣な声援が学校前のウェントワース公園に大きく響きました。競技に応援



に、みんなが一生懸命に頑張る姿を見られたのはこの上ない喜びだったとともに、とてもありがたく感じました。そして12月には卒業生3人を送る卒業式が、3年ぶりに全校生徒が見守る中liveで執り行われました。4歳から14年間も通い続けた3人が日本語学校を卒業する日



す。ホールに映し出された大きなスクリーンに見る、それぞれの入学時からここまでのスライドショー、そして今立派に成長した卒業生たちの心からの言葉、号泣せずにいるのが難しいほど感動的な時間でした。どちらもCOVID前には実施できるのが当たり前、と思っていたこれらの行事が全校をあげて盛大に、また厳粛に執り行われたことに心から感謝しています。

さて、感慨深い昨年のお話を延々しましたが、実はここはクラス紹介のためのページ。ではシリウス組をご紹介します。

令和5年の最上級生組はシリウス組です。シリウスは昨年末、2023年のクラス名は星座か星の名前ということが決められてから、例によって旧杏子組の全員で決めました。可愛い星座の名もたくさん出たのですが、これまた例によって「一番クールでかっこいい名前」という理由でシリウスに決まりました。誰かが調べてくれたことによると「シリウスは太陽を除けば最も明るい恒星で、地球に近い」「太陽の約2倍の質量をもつ」等、それ自体がかっこいい星だそうです。(幸運にも最上級生組の担任は知らないことをいろいろと彼らから教えてもらえます)

クラスの構成は、旧さくらんぼ組からの3名を加えて女子5名、男子6名の11名で、年齢的にはY7からY12までの全学年が在籍します。この年齢差が難題で、12歳と18歳といえばもう全ての点で大人と子どもほどの差があります。逆にいえば、このギャップがこのクラスの特徴でここに面白い化学反応が生まれるわけです。Y7の時には大きな人たちの話にちんぷんかんぷん「なんの話かわかる?」と聞かれても返事すらできなかった人が、1年が過ぎる頃にはなんとかついてこられるようになり、だんだん率先して話に加わり、そして間も無く新しい知識や情報を提供する大きな人たちになっていきます。この変化を目の当たりにできるのが担任の醍醐味です。今年のクラスがどんなふうに成長していくのかと今からワクワクしています。

(担任:朝倉則子)



JCS日本語学校ダングス校 JCS Japanese School Dundas

学校 Dundas Public School (85 Kissing Point Road, Dundas NSW 2117)

連絡先 PO Box 1072, Dundas, NSW 2117 電話 0411-734-819 授業 毎週土曜日 / 9:30~12:15

Email jcs-jpschdundas@live.com Web <http://dundas.japanclubofsydney.org/index.html>

新年のご挨拶を申し上げます。2022年は、前年から改善が見られたものの新型コロナウイルスの影響をまだ身近に感じる年でした。明けて2023年は卯年。卯の干支にふさわしく、各々にとって向上や飛躍が感じられる年になることを願っております。

2022年を振り返って

過去2年間とは異なり、全学期において対面授業が行われました。また、海外で継承語を学ぶ子どもたちにとって、日本の文化や習慣を学ぶ上でも大きな意味を持つ行事、例えば運動会や、クラスでの調理実習、書道、紙漉きなどの特別授業も開催することができました。

第4学期最終日は、卒業式、終業式に加えて、3年ぶりとなる校内発表会も開催されました。この日のために、先生、生徒、保護者、イベント係、役員が一丸となり、発表内容を検討し準備を進め、一生懸命練習を重ねました。当日は虹組がトップバッターを飾り、初の校内発表会の緊張にも負けずに、生徒たちはしっかりと歌い素晴らしい発表をしてくれました。それ以降も、あやとりや手話付きの歌、劇など、工夫を凝らした発表が続き、最後は恒例の大河組のハンドベルで締めくくられました。ダングス校らしさに溢れ、生徒たちの成長を大きく感じられる会となり、来年も非常に楽しみです。



ダングス校に入学後、これらの行事を一度も経験したことがない生徒や保護者も多く、準備に関しては先生や保護者、また卒業生の保護者などからもご尽力いただき、無事に成功を収めることができました。この場を借りて、ご協力いただきました方々に御礼申し上げます。

2022年の卒業生は、佐藤やすたか君、シートーローラさん、大村デビスルーカス君の3名。

やすたか君は、合計8年間をダングス校で過ごし、大河組担任の大上先生より「最初からとても真面目な生徒で、宿題も漢字テストも真剣に取り組んでくれました。模範生だったと思います。今年はYear 12にも関わらず、一度も休まず年間皆勤賞を取りました」と紹介されました。ご本人の努力のみならず、ご家族のサポートも大きかったことでしょう。

シートーローラさんは、14年前のダングス校開校以来、日本語学習を続けている努力家。これほど長期間続けら
Jan-Feb 2023 JCS Monthly Magazine

れてきたのは立派なこと、と大上先生は話されています。また、校内でパン販売などを行うダングス校ですが、商品を購入する際、ファンド係に対して非常に丁寧な挨拶や受け答えができ、下級生に良いお手本となる生徒さんでした。



大村デビスルーカス君もダングス校開校時から14年間学習を続け、山河組担任の林和子先生の印象は「頑張り屋さん」。ダングス校を卒業された二人のお姉さんと同じく、ルーカス君も勉強を続け、HSCで日本語課程を履修しました。努力の甲斐あって、好成績を収めることができたそうです。

現地校の勉強や習い事、課外活動などがある中、長期にわたり日本語学校に通うのは簡単なことではなかったはず。今後どのような道に進むかに関わらず、この経験は糧となるでしょう。卒業、本当におめでとうございます。

ジョーンズゆなちゃんのお別れ

2011年よりダングス校で日本語を勉強していたジョーンズゆなちゃん。大変残念なことに、2023年1月3日に病気のため亡くされました(享年15歳)。幼い頃からスピーチコンテストに出場したり、日本語に秀でていたゆなちゃん。将来は日本で仕事がしたいと日本語学習を頑張り、2021年にはミニスターズアワードにも推薦されました。多くの保護者や先生方から愛された生徒さんで、校内からは「笑顔が素敵」「優しさで溢れていた」「日本語がとても流暢」「好きなアニメについて話してくれた」「会うといつも笑顔で挨拶してくれた」など、様々な思い出が語られました。

ゆなちゃん、ゆなちゃんのごことは皆の心の中にこれからも残っていきます。今はゆっくり休んでください。ゆなちゃんのご冥福を心からお祈りいたします。

(事務: デルブラド)



お楽しみ会を開催しました。

4学期が修了しました。修了式ではお楽しみ会としてクラスごとに出し物をしました。さくら組の詩と朗読、みかん組のクイズ、さくら組の歌、りんご組の早口言葉、なし組のビンゴ、もも組のダンス…どのクラスもしっかりと準備してきたのが伝わり、とても感動しました！保護者の皆様と一緒に、子どもたちの成長を見ることができて、とても素敵なお楽しみ会でした。



ことは、子どもたちが日本語学習を「楽しい」と感じることに役立っていたように思います。4学期は「どんな〇〇が好きですか」というフレーズに焦点を当て、食べ物、動物、色などの身近な語彙を増やすことを目的にしていたので、そういった語彙を遊びながら学習しました。また、さくら組ではひらがなを3学期から少しずつ学んでいます。ひらがなの学習では、「ひらがなカード」と作り、習ったひらがなを一つずつリングに綴じていきます。少しずつ増えていくカードを見て、子どもたちは徐々にひらがなに自信をつけていっていました。4学期の最後の授業日にお楽しみ会があったため、その準備を授業内で少しずつ行いました。体の部位を学習したので、お楽しみ会では「むすんでひらいて」を発表しました。歌の練習と体の部位を表す言葉をたくさん練習し、本番では無事、大きな声でみんな歌うことができました。みんなよく頑張ったね♪他に、日本文化の紹介として、七五三について学びました。授業時間が短いので、普段はあまり工作の時間が取れませんでした。その日はみんなで千歳飴袋を作りました。子どもたちがとても嬉しそうに、自分たちで作成した千歳飴袋を持って帰る姿を見て、日本語だけでなく日本文化について学ぶことは日本語学習へのきっかけになることを再認識しました。楽しく日本語を学ぶことは、継続性、主体性の向上につながると感じています。来年も楽しく学んでいきましょう！

(担任:小瀬良実穂)

⑩ クラス紹介 さくら組

さくら組はトライアルクラスとして、3学期からスタートしました。正規授業前の1時間という限られた時間の中でしたが、子どもたちはとてもよく頑張っていました。さくら組は4歳～12歳の8人のクラスで、年齢に幅がありますが、その分お互いで協力しながら学びあうことができました。「あいうえおの歌」でひらがなを学習することからクラスがスタートします。そのあとは天気、曜日、日付を確認します。3学期から行っている活動ですが、毎週繰り返しているとみんなすぐに答えられるようになりました。そのあとは外に出て前回習った語彙の復習・定着を図ります。さくら組では「遊びながら」学べるように授業をしています。走りながら、教えあいながら学ぶ



編集委員会を開催

昨年末の12月6日、市内レストランにて編集委員8人が集い、2022年度の編集委員会を開催しました。

会議では、今年の『JCSだより』表紙を飾って下さる方も無事決定し、JCS設立40周年を迎えるにあたっての記念コラムを含めた新しい連載記事の数々、そして新しい編集委員も決まり、これまでの連載記事も含め、今年も読者の皆様に充実した誌面を楽しんで頂けるものと思っております。

原稿を執筆して下さっている全ての筆者の皆様へ、この場をお借りしまして深くお礼申し上げますとともに、今度ともJCSへのご協力を宜しくお願い致します。

渡部重信「JCSだより」編集長



徳田総領事とJCS役員との懇親会



徳田修一新総領事とJCS役員との懇親会が、12月8日(木)、総領事公邸において催されました。

JCSからは役員7人が参加して、JCSをはじめシドニーの日系コミュニティについて、日本語学校の現状など、様々なトピックスについて歓談しました。

参加したのは、コストロ会長、水越・松隈両副会長、チャーカー相談役、渡部事務局長、リヒター会計担当理事、阿部理事の7名です。
(写真左から：野田領事、水越副会長、渡部事務局長、コストロ会長、徳田総領事、チャーカー相談役、松隈副会長、阿部理事、リヒター理事、立野副領事)

心の葉

WORK HARD & BE NICE TO PEOPLE

題字●藤沢育子

8年前、東京で5年程勤めていた会社のシドニー支社で働き始めました。オフィスにいる日本人は私だけで、様々な背景をもつ同僚に囲まれ、価値観の違いを日々、目の当たりにしてきました。ライフワークバランスが整備され、効率が重視される環境の中、自分が一生懸命になるほど利用されてしまうのではないかと疑問を抱いていた時期があります。

そんな時に見つけたのがイギリス人アーティストの版画。大きくWORK HARD & BE NICE TO PEOPLEという文字が印刷されています。同じ道徳観をもつ人がいることにホッとしたと同時に、少くも効率が悪くても、夢中になって他の人のためになれればいいじゃないかという気持ちになれました。そんな気持ちになれること自体、実は幸せなことかもしれないと今は思っています。(ゆき)

総領事館からのお知らせ

※新型コロナウイルスに関する在シドニー日本総領事館からのメールマガジンの抜粋です。総領事館からメールマガジンが発信されていますので、こまめに最新情報を得るようにしてください。

新型コロナウイルス関連情報

当地の新型コロナウイルス関連情報や日本への入国手続きは当館HPや州政府のウェブサイトで最新情報をご確認いただきますようお願いいたします。

(当館HP)

https://www.sydney.au.emb-japan.go.jp/itprtop_ja/index.html

(水際対策/厚生労働省)

https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000121431_00209.html

(日本入国に際する必要書類等)

https://www.au.emb-japan.go.jp/itpr_ja/pctestjapanese.html

(空港での検疫手続きの事前登録(Visit Japan Web)について)

https://www.digital.go.jp/policies/visit_japan_web/

在外選挙人名簿への登録

12

日本国外に居住されている満18歳以上の日本人は、国外からの投票を通じて国政選挙に参加することができます。国外で投票するには、在外選挙人名簿への登録が必要です。登録を済まされていない方は、最寄りの大使館又は総領事館等にて登録をお願いいたします。申請後、在外選挙人証を交付するまでに2か月程度を要します。お早めに在外選挙人名簿への登録手続きを行ってください。詳細は以下URL:

<https://www.mofa.go.jp/mofaj/toko/senkyo/index.html>

衆議院小選挙区の区割りの改訂等について

公職選挙法の一部を改正する法律(区割り改定法)が令和4年11月28日に公布され、同年12月28日から施行

されました。区割り改訂に伴い、在外選挙人証の小選挙区に変更が生じた方は、在外選挙人証の再交付申請を行ってください。詳細は以下URL:

https://www.soumu.go.jp/senkyo/senkyo_s/news/senkyo/shu_kuwari/shu_kuwari_4.html

https://www.soumu.go.jp/main_content/000847502.pdf

日豪間の国際便運航及び運休状況

●全日空(ANA)

シドニー・羽田線

シドニー発の便(NH880)および羽田発の便(NH879)は、10月28日(日)まで週7便で、また、シドニー発の便(NH890)および羽田発の便(NH889)は、3月25日(土)まで週3便(日・金・土)で、以降10月28日(土)まで週7便で運航の予定です。

○全日空ウェブサイト

最新の運航情報は、以下のサイトをご確認ください。

<https://www.ana.co.jp/group/>

●日本航空(JAL)

シドニー・羽田線

シドニー発の便および羽田発の便は、3月25日(土)まで週7便で運航の予定です。

○日本航空ウェブサイト

<https://www.jal.co.jp/jp/ja/info/2022/inter/oceania/>

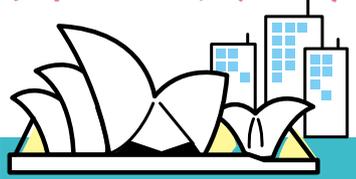
●カンタス航空

シドニー・羽田線

最大週7便で運航される予定です。

<https://www.qantas.com/au/en/qantas-experience/international-flight-network.html>

シドニースケッチ



今月の風景:シドニーオペラハウス

2023年、新年のシドニースケッチは、オペラハウスです。オペラハウスは世界で最も建造年代が新しい世界遺産で、シドニーのみならずオーストラ

リアのシンボルとして世界中に親しまれています。20世紀を象徴する近代建築の傑作と言われています。設計者は計画決定当時、無名だったデンマーク・コペンハーゲン出身の建築家ヨーン・ウツソン氏です。独創的な形状と構造設計の困難さなどにより工事は大幅に遅れ、1959年に着工したものの竣工は1973年になりました。

今年は、オペラハウスの50周年にあたり、昨年からお祝いのイベントが沢山催されています。JCSも今年は、40周年を迎えますね。どのようなイベントが催されるのか、とても楽しみにしています。



総領事館からのお知らせ

領事サービス向上・改善のためのアンケート調査
(回答への協力をお願い)

在シドニー日本国総領事館

領事サービスの向上・改善のためのアンケート調査を実施しております。
当館における業務処理状況やマナー（言葉遣い、接客態度）等について、皆様から忌憚のないご意見やご感想をお伺いし、領事サービスの向上・改善に努めてまいりたいと考えております。

アンケート調査にご協力いただける方は、以下の要領でご回答いただけますようお願いいたします。【所要時間は5分程度です】

【アンケート調査実施期間】

2023年1月16日（月）～29日（日）

【対象者】

過去1年間に当館の領事サービス（旅券や各種証明の申請、戸籍・国籍関係の届出、領事窓口や電話での各種相談・照会等）を受けられた方

13

【回答方法】

以下のQRコードからアンケートフォームにアクセスの上、各質問にご回答願います。

《QRコード》



<https://www.enquete-web.com/MOFA2023/?city=44&code=614D>

マルチカルチュラリズム

新しい年を迎えると、今年こそきつと良くなるだろう、そうなってほしいと願いがちです。さて、2022年はどんな年でしたか？世界的にはなんとといってもロシアによるウクライナ侵略で始まった戦争です。経済的には世界中で食料・エネルギー価格の高騰と、コロナ対策によるインフレ加速と利上げ圧力による景気停滞でした。

日本では、ウクライナ戦争による防衛論議の活発化と、安倍元首相銃撃事件ですね。また、物価高や円安が大きな話題になっていました。

一方、オーストラリアではコロナ感染予防規制の撤廃が大きかったです。また、野党労働党が総選挙で与党保守連合に勝利して9年ぶりの政権交代となりました。英女王の死去も共和制論議の再燃に影響を与えたようです。

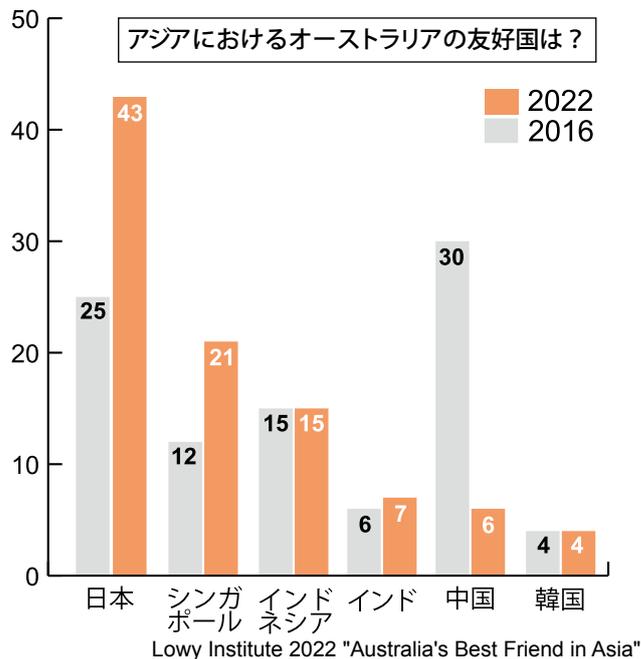
友好国としての日本の地位が上昇

オーストラリア国民のアジア6カ国に対する友好度調査があります。日本が43%と2位のシンガポールより2倍以上の割合で友好国ランキング1位となっていて、2016年から大幅に好感度が増えています。一方、2016年に1位だった中国は、大きく減少して5位になっています。この背景にはコロナ禍や、ウクライナ戦争への姿勢、香港施政への関与やチベット・ウイグル自治区での人権侵害など、様々な報道による影響があるのかもしれませんが、一方、日本が大幅に友好国としての地位を伸ばしたのは、コロナ前までの観光ブームはもちろん、米国を含めた同盟関係の強化ということもあるのでしょう。

果たして2023年以降、再び観光交流が復活し、日本食ブームやお酒の人気上昇と相まって、さらなる関係の発展と深化につながることを期待したいですね。

2023年は新しい戦前か？

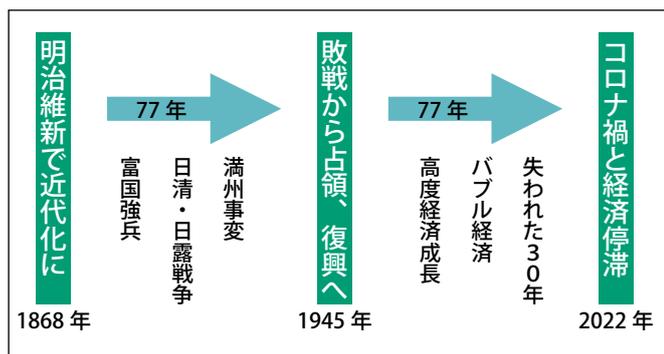
ところで昨年末の日本のテレビ「徹子の部屋」でタモリが、2023年はどんな年になるでしょうと聞かれて、「新しい戦前になるんじゃないでしょうか」と答えたのが話題になりました。なんだか最近の日本を見ていると、「敵基地攻撃能力」とか「防衛費倍増」とか、戦争に前のめりになっているように感じられたのかもしれませんが。



また、77年周期説も話題になりました。どういうことかということ、日本が江戸から明治維新によって近代化を始めたのが1868年で、それから77年後が1945年、敗戦の年です。さらに77年後が2022年というわけです。つまり、明治から敗戦までの戦前と、敗戦から昨年までの戦後が同じ77年という年数で、さらに77年後が2099年、つまり世紀末になるというわけです。

日本は明治維新から近代化を目指して富国強兵路線を推し進め、国際連盟の常任理事国として世界五大国の仲間入りを果たしますが、海外への植民地侵略を始めて戦争で多大な犠牲を出して敗戦を迎えます。戦後はまさにゼロからの出発でしたが、朝鮮戦争とベトナム戦争による特需もあって、その後の高度経済成長を成し遂げます。一時は「Japan as No.1」とまで言われ、狂乱のバブル期を迎えます。しかし、バブル崩壊後の経済低迷は「失われた30年」と言われるまでに続いてしまいます。まさに成長と低迷・崩壊を繰り返してきた77年周期です。

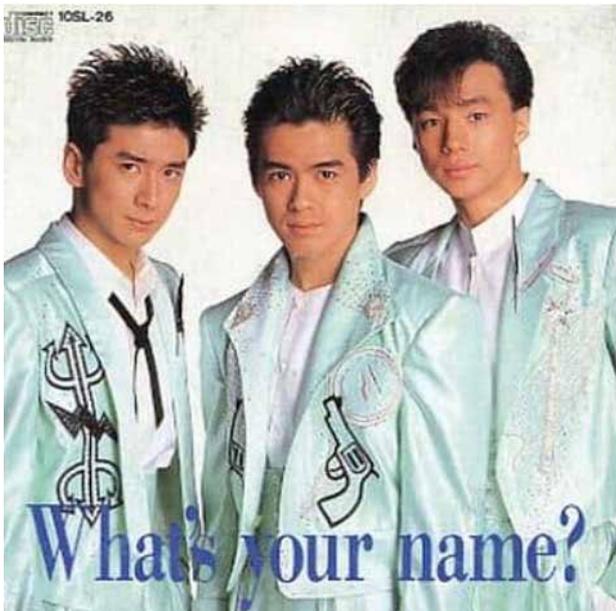
歴史の偶然を根拠に陰謀論を喧伝するわけではないですが、はたして「新しい戦前」なのか、「第二の戦後」のはじまりなのか、最近の岸田首相の唐突な発言を聞くと、結局、米国に言われるがままに軍備増強を図り、戦争に備えることしか頭にないのかと思えてなりません。2月で1年となるウクライナ戦争もその行方が大いに気になります。このままズルズルと戦争が継続するのでしょうか。コロナ禍もまだまだ収まる気配を見せず、日本では連日、感染者数や死亡者数が過去最多と報道されています。何よりも歴史を直視し、賢明な未来を選択することが求められているのではないでしょうか。



新連載



「推し」とは名詞としてアイドルやアニメのキャラクター等に対し、「一番のお気に入り、一番応援している人・モノ」等の意味で使われている。同時に動詞として積極的に応援したい、周りにも勧めたい、自分ができることは全力でやってあげたいという強い支持を表す。「推し活に邁進する」、「お仕事より推し事」、「推しは推せる時に推せるだけ推せ!」というような使い方をする。



私の推しは昭和のアイドルグループ少年隊！少年隊は錦織一清(ニッキ)、植草克秀(かっちゃん)、東山紀之(ヒガン)の三人からなる元ジャニーズのアイドルグループ。1985年に「仮面舞踏会」でデビューし、「君だけに」他数々のヒットを飛ばし、23年間にわたり毎年青山劇場でミュージカル・プレイゾーンを上演した。亡きジャニー喜多川に「自分の最高傑作」と言わしめた歌と踊りの完成度は他に類を見ない。厳しいコロナ規制が敷かれていた2020年12月、YouTubeのお勧めに突如現れ、ロックダウン中は少年隊の歌って踊る姿を見るのが一番の楽しみだった。ちなみに一番のお気に入りは名曲「まいったネ今夜」の動画。ニッキとかっちゃんがジャニーズ事務所から独立後、人生で初めてファンクラブに入会した。昨年はコロナ規制がようやく緩和され、5月にかっちゃんのライブやニッキ演出の舞台観劇に合わせて帰国した。年末には二人のディナーショーにも馳せ参じることができた。推しのいる暮らしというのがかくも楽しく、忙しく、お金のかかるものだったとは… (すみれ)

Jan-Feb 2023 JCS Monthly Magazine

外食日記



Nieo's Grille

住所: 214 William Street, Earlwood, NSW 2206

電話: (02) 9787-9055

予算: \$30

営業時間 水木金: 5pm~9.30pm

土: 11.30am~10pm

日: 11.30am~9pm

雰囲気 8、料理 9、サービス 7

15

今月はEarlwoodにあるギリシャ料理です。週末のランチに利用しましたが、繁華街から離れているにも関わらず賑わっていました。注文したのは、Mix grill platter for two(写真)、Moussaka、Pastitsioです。

ミックスグリルは運ばれてきた時に、思わず声が出る程インパクトがあります。内容は、ポークとラムのリブ、150gサーロインステーキ、チョリソー、ギリシャ風炭火焼チキン、目玉焼きにサラダ1品(シーフードサラダを選択)とチップスが付きます。肉は香ばしく焼けていて柔らかく、やや甘めの味付けが美味しかったです。

ムサカは牛挽肉、ポテト、茄子、チーズ、ベシヤメルソース、ナポリタンソースを重ねて焼いた料理、クリーミーで美味しかったです。パステイチオは、ペンネ、牛挽肉、ベシヤメルソース、ナポリタンソースを焼いた料理、トマトの果実感が美味しかったです。

Let's アート

Art
Gallery
NSW

NSW州立美術館日本語ボランティア・ガイド便り



Installation view of the Dreamhome: Stories of Art and Shelter exhibition in the new building at the Art Gallery of New South Wales, featuring Samara Golden Guts 2022 © Samara Golden, photo © Iwan Baan

新時代のNSW州立美術館へようこそ。

州立美術館創設150周年を記念したシドニー・モダン・プロジェクトの一環として新館がオープンし、また本館も展示を一新、見どころが増えました。もうご覧になりましたか？本館の北側に建つ新館は日本人建築家ユニットであるSANAAの設計によるもの。職人の手によって作られた土壁や暖かみのある外壁ブロックなど建物自体も是非ご注目ください。

新館においてはアート作品のための大きな展示室は地下のタンク・ギャラリーを含めて7つあり、それぞれのテーマに沿って現代アートが展示されています。“Yiribana Gallery”はもともと本館地下にありましたが、今回新館入り口のすぐ右手に移動し、展示スペースもさらに広くなりました。アボリジナル、トレス海峡諸島の人々の作品が集められ、見ごたえ十分です。地下2階で開催中の展覧会“Dreamhome”は世界中で活躍している29名のアーティストたちが「家」という概念を改めて捉え、それぞれが「夢の家」を場所や時空を超えて表現しています。アメリカ出身のSamara Goldenの作品“Guts”は鏡の中の世界に摩天楼のようにそびえ立つ白い建物が、どこまでも続くのに圧倒されます。

また、プロジェクトの一環として、美術館が9人の現代アーティストたちに制作を依頼した各作品も見どころです。そのうちの一つ、メルボルン在住のアーティストRichard Lewerの作品は新館建設の経過を記録したとてもユニークなもの。実際にプロジェクトに関わった人々

が描かれていて、彼らのバックストーリーをたどるのも面白いでしょう。

19世紀に建てられた歴史ある本館も、これまでの展示が新しい観点から見直されています。20世紀ギャラリー奥の大きな窓際には銀色に光るキャプテン・クックの像が展示されています。ニュージーランド出身のMichael Parekowhaiによるこの像は窓のむこうにある新館やその先のウルムルーの海を見下ろしているかのようです。美しく改装されたメンバーズラウンジや、オーストラリア初の子供向け美術図書室が併設された新しい図書室や資料室も地下3階に誕生しました。また40年の歴史あるARTEXPRESS展も2月2日から始まります。こちらは、NSW州のアートを学ぶ高校生達が、HSCのために制作した作品を展示する毎年恒例の展覧会です。



Installation view of Richard Lewer Onsite, construction of Sydney Modern which resides on the lands of the Gadigal of the Eora Nation 2020-21 in the new building at the Art Gallery of New South Wales © Richard Lewer, photo © Art Gallery of New South Wales, Zan Wimberley

日本語ボランティアガイドによる、建物や作品の見どころをご案内する新館ノイライトツアーは毎週金曜日(午前11時)、日曜日(午後1時)の週2回行っています。45分間のツアーで、予約不要です。建物の前のウェルカムプラザに時間前にお集まりください。直前に変更等ある場合もありますので、美術館のウェブサイトをご確認の上ご参加ください。本館ハイライトツアーも3月から開始します。皆さまのご来館をお待ちしています。

(NSW州立美術館日本語ガイド:花咲三起子)

Art Gallery of New South Wales

Art Gallery Road, The Domain 2000 Phone: (02) 9225-1700
毎日10am~5pm.水曜のみ9時まで(アート・アフターアワー)
Web: www.artgallery.nsw.gov.au

ニューサウスウェールズ州立美術館。常設展入場無料。
本連載は美術館の日本語ボランティアガイドが担当。
“件名: Japanese Tour”で、Eメールでの日本語での問い合わせ可。
Email: volunteerg@ag.nsw.gov.au

書籍



みんな誰もが神様だった

著者:並木良和

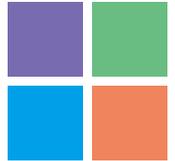
発行:青林堂 2018年

★★★★★

表紙を見て、「誰、この中年になったアイドルみたいな人？」と思われた方もいるかもしれません。著者の並木良和さんは、スピリチュアル・カウンセラーでその的確なアドバイスでスピリチュアルの世界でここ数年でぐんぐん頭角を現してきている人。柔らかく中性的な感じの方ですが、主張していることは私には非常に的確かつじっくりくることばかり。よくあるふわふわしたスピリチュアル本とは一線を画し、大胆な真実をズバリとついでくるのは並木さんが「本物」である証拠だと感じます。YouTubeで出会って断片的に話を聞いているうちに次第に強く心惹かれてきたので買って見た本書は、彼の考え方を非常によくまとめてありすっと魂に入ってくる感じがしました。「こうあるべき」「こうすべき」と頭で考えてがんじがらめになっている人、一度彼の本やYouTubeに触れて、本来の自分の魂に戻る生き方を探ってみても良いのではないかと。少なくとも私は並木さんのおかげでとても救われ目覚めた感じがしています。

★5つ星評価

JCS アートレビュー



観賞

舞台は1923年のアイルランドの孤島、イニシェリン島。孤島の密な人間関係の中、単純なパードリックは、インテリな音楽家、コルムとパブで飲むのが日課。そんなある日、コルムは急にパードリックに

絶縁を言い渡す。動揺を隠せないパードリックは、十分な理由を求め続ける。決心の固いコルムは「これ以上しつこく聞いてくるならその都度、俺の指を切り落とす」と生々しい宣言をする。そしてコルムの作曲した『イニシェリンの精霊』という曲が完成。すると村の不気味な老婆が死を予言し、誰もが予想し得なかった結末が待っていた。日本の田舎町でもある得そうな、どこか童話的なプロット。ジャンルはコメディとなっているが、悲喜劇、またはブラックコメディ風の秀作。



イニシェリン島の精霊 The Banshees of Inisherin

監督: Martin McDonagh

主演: Colin Farrell, Brendan Gleeson, Kerry Condon

脚本: Martin McDonagh

ジャンル: コメディ 109分

★★★★★

17



Blue Weekend

アーティスト: Wolf Alice

★★★★☆

イギリスのオルタナバンドWolf Aliceの3作目のアルバム。もともとAcousticのデュオでEllie RowswellとJoff Oddieで始めたバンドがグランジ的な曲でヒットし、オルタナバンドとして定着している。その世界は深く、各曲のクオリティの高い音が心地いい。グランジといっても全体的に静かでアーティスティックな曲が多く、美しい。シングルHow Can I Make It OK?はとろけるような独特の世界が広がる。その中でSmileやPlay The Greatest Hitsがハードだが他の曲は思わず聴き入ってしまうような滑らかなメロディと展開が続く。UKではNo. 1をチャートで獲得しているが、今後の活動が注目されるイチオシのバンド。

音楽

科学の小箱 ちよつと サイエンス

佐藤寿治



【第233回】 What sort of Hatuyume did you dream

カウントダウンに続く華やかな打ち上げ花火に迎えられ、期待される2023年が明けました。盛夏に迎える賑やかなオーストラリアの新年に対し、真冬に迎えた思い出の中に残る日本の正月は温和しく、大晦日に合わせ用意された『御節料理』で食前を囲み、準備が整った頃を見計らい寒さをものともせず『初詣』に出掛け、その日の夜から2日の朝にかけ駿(げん)の良『Hatuyume(初夢)』を見るのが定番でした。『夢幻泡影』と列記される、名にし負う「はかない」事象の筆頭に挙げられる夢ですが、各自が見た夢を持ち寄り、少々の脚色を施して披瀝する物語は、新年を祝う家族団欒の場を盛り上げる格好の話題となっていました。江戸時代以降、『初夢』が庶民の年初行事として定着するのに合わせ、幸運を招く霊力を保持すると見做された対象が選別され、見損い回避を指南する安直(あんちょこ)迄も登場。因みに幸運を呼ぶ『初夢』は、『一富士(ふじ)、二鷹(たか)、三茄子(なすび)』がベストスリー。

ところが19世紀後半になると、それまで伽喃的『初夢』に代表される一過性の存在に過ぎなかった『夢』が、心理学や精神医療の研究対象として一気に衆目を集める存在に。しかも『深層意識』や『無意識』、更に『感情によ

って色付けされたコンプレックス』等という、斬新で難解な専門用語を冠してのイメージチェンジも申し分ありません。想定外の環境急変により、『睡眠』に従属し目立たずに来た『夢』の完全自立が図らずも叶うことになりました。当然の成り行きで研究者の増加及び研究の進展も目覚ましく、不可能と思われていた精神状態を詳らかにする役割も一気に増大。問題箇所の診療から適切な治療へと、患者を健康に戻す重要な役割が可能になったのです。それまで不可能とされていた『ヒステリー』を筆頭とする広範な精神疾患に対する完治も実現、催眠療法やカウンセリング等も加えた新たな診療方法も確立されました。

『夢』を通じ我々の意識状態の有り様を解き明かし、適切な医学面における病的な状況を明らかにする、『精神分析学』を世に知らしめる嚆矢となった書籍は、オーストラリアの精神科医であり精神分析学の創始者と称えられている、ジークムント・フロイトが1900年に上梓した『夢判断』でした。『夢』に登場する人物の独白や会話表現、更にそれらと関連する事物を加えた診療結果の分析から、病巣を宿す深層心理の解析を可能とする道を開き、自らも開業医として診療に当たっています。フロイトに次ぎ、しかも良きライバルとして、心理療法で『夢』を追い続けた重要人物がスイスの精神科医カール・グスタフ・ユング。彼の場合『夢』を組み立てるストーリーとその変容を注視し、それらの分析から心理療法を試みる『夢分析』を創始。現在ユング『分析心理学』として知られ、『夢分析』を担う世界的なネットワークの礎を築きました。

今年の『初夢』に、間もなく4年目に入るCOVID-19パンデミックの終息を念じましたが、出現しないばかりか感染力を増した新たな変異株『XBB.1.5』が、アメリカを中心に広まり期待を持てる状況にありません。それより来年の『初夢』迄に、少なくとももう一度のワクチン接種を覚悟する必要があるかも知れません。お気を付けを。

スポーツ天国 SPORTS



163

世界ラグビーランキング

昨年最後は、サッカーで盛り上がりましたね。でもラグビーの話題です。ラグビーリーグの世界ランキングが発表されました。(過去4年間の結果を基に算出されています)

1 豪州、2 ニュージーランド、3 サモア、29 フィリピン、45 日本、51 アルゼンチン。豪州はぶっちぎりの1位です。日本は45位、昨年の試合でフィリピンに勝ったのですが、ランク的には負けています。面白いのが、サッカーW杯で優勝したアルゼンチンが、登録国最下位の51位



でした。

女子のランキングも出ていて、1位はやっぱり豪州、そしてニュージーランド、イングランドと続いて、フィリピンは19位、日本は登録代表チームが無いみたいで、出ていません。

ちなみに、成長著しいラグビーユニオン日本代表のランキングは10位です。女子は12位。(ぴか)

会員の皆さんからの情報も受け付けています。Eメールは、kenerit@gmail.comです。よろしくお願ひします。(ぴか)

キラリと光る

あの人・この人

人物紹介
第93回

山田 航さん

Dancer & Dance Teacher

今月の「キラリと光る」は、Dancer & Dance Teacherの山田航さん(22歳)です。まずは、ストリートダンスの大会「Red Bull Dance Your Style 2022」での優勝、おめでとうございます。

2022年12月には、世界大会にオーストラリア代表として出場されました。この年は、南アフリカがワールドファイナルの会場で、世界36カ国の優勝者とゲストを含め総勢80人程が集まりました。

Dance Your Styleは、バトル開始と同時に、流れる曲に合わせて即興で踊る大会です、観客がジャッジとなります。会場の観客をいかに盛り上げ、曲に合わせて、自分のダンスを踊れるかが、重要なポイントです。私は、即興！と聞いて驚きました。

ゆっくりした曲？踊りにくい曲もあるのでしょうか？「あります。ですので、知らない曲をかけて普段から練習をします。でも、大会では、そういう曲がかかるのも、面白い！僕は冒険が好きです」と、何ともさすがです。肝が座っていて臨機応変！と感心します。

今回の大会では、1回戦がスイス代表と当たり勝ち抜き、2回戦が南アフリカと当たり、残念ながら敗退したそうです。南アフリカの印象を聞くと「とてもピュアな人達！」という印象だったそうです。見たことのない人のダンスを見るのは好きで、戦っている時はいつも自分と戦っている感じ！だと言います。「ダンスは楽しむことが1番大切」。勝ち負けは、関係ないと言います。航さんの話を聞いていると、本当にそう思います。



「世界に一つだけの花」の歌詞に、「人間はどうして、こ



うも比べたがる、一人一人違う種を持つ、その花を咲かせることだけに一生懸命になればいい」とあります。もしかすると、このような考え方が航さんの強みなのかも知れない？と思いました。本当にダンスが好きなのが伝わってきて素敵でした。

4歳からはじめられたダンスですが、10歳からは、オーストラリアバレエ団に合格し、舞台にも出場されています。去年は、若手振り付け師に贈られるTelstra Emerging Choreographer (TEC)のファイナリスト3人に選出されてダンスビデオの作成を行われました。(写真下) 様々な才能をお持ちの航さんに目が離せません。



2024年からは、オリンピックの種目にブレイクダンスが追加されます。楽しみですね。

航先生が教えているダンス教室のお知らせです。「ブレイク塾」は、クロウズネストにあります。住所：1/441 Pacific Hwy, Crows Nest, NSW 2065
お問い合わせ & ホームページ
<https://dig-entertainment.wixsite.com/class>





こんにちは。シドニーで絵画や折り紙アートを制作しているファーズみどりです。

私はもともとキャンバスに絵を描いていました。私が折り紙と再会したのは2000年のシドニーオリンピックです。通訳のボランティアをしていた私は、オリンピック村のスイッチボードに折り紙カンガルーを見つけました。作り方はすぐわかり、みんなにせがまれてたくさん作りました。その日はスペイン語の通訳だけはオリンピック村の美容室で髪型の説明に困った選手のお手伝いなどで大忙しだったものの、私は日本チームの記者会見に立ち会ったくらいでのんびりした一日でした。

でもそのカンガルーがその後の私に大きな影響をもたらすとはその時は全く予想していませんでした。

(次回に続く)

さて、2023年はチャッツウッドの図書館で折り紙好きが2カ月に一度日曜日に折り紙持参で集まるイベントを企画しました。参加者同士が作り方を教えあう気楽な集まりです。私の知っている折り紙大好き人間たちも協力してくれます。きっと面白いと思いますよ。ぜひご参加ください。参加費無料。図書館ホームページより要予約の予定。

(第1回の参加は20人を想定。参加者が多い場合は図書館と相談して対応する予定。)

対象は12歳以上。(お子様は図書館の規則で保護者が参加する場合のみ一緒に参加が可能。)

また、お家で眠っている折り紙や折り紙の本の寄付大歓迎。

□Chatswood Origami Club

□日時:3月5日(日)午後2~4時

□場所:チャッツウッド図書館

□3月以降の予定:5月7日、7月2日、9月3日

ファーズみどり・アーティスト www.midorifurze.com

2022年日本国外務大臣表彰受賞

(写真:Spiral©2023MidoriFurze)

脱炭素化社会の パラドックス

脱炭素化社会を目指すことにより、一番儲けているのは従来のエネルギー(石油・石炭・ガス)の産出国です。その中にはロシアも含まれます。今のエネルギー高騰は、ロシアの対ウクライナ戦争が原因であるとよく言われていますが、実はそれ以前、世界的に脱炭素化社会を目指す方針が決められてから資源の高騰は始まっていました。エネルギー資源開発は探査から始まる非常にコストがかかる、長期的な投資案件です。それら従来のエネルギーが10年先には不要となってしまいうようであれば、誰もそのような資源開発に投資しようとはしません。結果、それらエネルギーは希少な資源となり価格高騰を招いてし

みなさん、 知ってましたか?

このコラムでは一般的に知られていないような雑学の色々から、面白い興味深い話を書いていきたいと思います。



まいます。

最悪なシナリオ:半導体の世界的な生産競争等、今後電力の需要はますます増えることが予想されており、もし脱炭素エネルギー生産技術が追いつかなければ、石油・石炭・ガスの価格は高騰する一方となります。

総領事館からお願い(在留届の提出)

外国に3か月以上滞在する日本人は、最寄りの大使館又は総領事館等に「在留届」を提出することが義務付けられています。大規模な災害が発生した場合など、当館では、オーストラリアの関係当局に連絡を取って邦人の被害について確認をする一方、在留届を確認して該当地域にお住まいの方に、直接ご連絡を差し上げ安否を確認することがあります。在留届は、このような災害時の安否確認のためにも使用いたしますので、届出内容に変更(住所や同居家族の変更等)が生じた場合には「変更届」を、帰国の際には「帰国届」をご提出いただくようお願いいたします。

<https://www.ezairyu.mofa.go.jp/RRnet/index.html>

死ぬまでフリーランス

あけましておめでとうございます。今年で来豪9年になるフォトグラファー／CMディレクターの小野一秋です。周囲の方達にはAkiと呼ばれていますが、最近ではパン屋としてご周知いただいているかもしれません。今号よりコラムを担当させていただきます。

「アキさんって、何が本職でしたっけ？」とよく言われます。そういった時は迷わず「カメラマンですよ」と答えます。ただ、カメラマンと一口に言っても近年は色々な意味が含まれるので、いつも少し説明が必要になるんですね。日本に居た頃は「クルマやバイクのスペシャリストと



高級食パン専門店「AKIPAN」をオープン予定



日本在住時は主に車・オートバイ専門の写真家として活動

して、メーカー広告と自動車雑誌を撮っている」のような感じだったのが、今は「広告写真がメインです。けれどCMも作るしテレビも撮ったりしますよ」という感じ。この言葉には、オーストラリアへ来てからというもの、仕事の幅が広がって好きにやっていますよ、というニュアンスが含まれていたりします。もう少し説明させてもらおうと、フリーランスで長年コツコツとしてきたことが、巡り巡って少しずつ自分に帰ってきたというか、かつて蒔いた種が小さな実を付けて、ポツポツと花を咲かせるような感じですよ。

もちろん写真や映像の世界で言えば、フリーランスになる以前の修行時代があった話で、僕は12年ほど師匠に師事した後に30歳で独立しました。その後自分の信じるテイストを頑なに貫いたおかげで、今があるとも言えます。

見出しに「フリーランス」と置いたのは、仕事の意味もありますが、どちらかというとライフスタイルの話です。撮影の仕事をしていると、ロケに出てしまって1カ月家に居ない、ということも多々あります。実際、少し前のロックダウン中に国内外問わず撮影が続き、日本での待機要請や帰国後の強制隔離などもあったので、撮影自体は数日間であるにもかかわらず、数カ月で自宅には10日間も帰れない、という期間もありました。ですがそれが

過ぎれば、庭の芝を刈り、鳥の餌台を作り、好きな料理を作り、キャンプへ行き、魚を釣り、子どものイベントに参加し、美味しいロースターのコーヒー豆を探し、ピザ窯を作り、犬をトレーニングし…、要は趣味や子育てに没頭する時間を連日、盛大にとることができます。そして、そういった仕事ではない時間で長年やってきた結果、後に活きるようになったひとつの事柄が、冒頭に書いたパン屋なのです。

僕の世代は20代前半で少しかだけ日本のバブル時代をかすめていて、良くも悪くも僕自身色々な影響を受けています。ところが当時はしがないカメラアシスタントですから、とにかく金が無い。だけれど遊びたい、特にグルメブームの世の中で、美味しいものを食べたい、女の子と格好良い店に行きたい、けれど高くて行けない！じゃあ料理やパンは自分で作ってやる、と思って始めたのが多分始まりです。料理写真を撮っていたこともあり、料理研究家や先生方との付き合いもあって、食に関する知識はそれなりに培っていましたから、こだわって没頭するのは難しくありません。そこから数十年続けてきたパン作りの一部を何かカタチにしたいと思い、文字通り練り上げたのが「AKIPAN」の食パンです。AKIPANについては他で取材なども受けていますのでそちらにお任せするとして、フリーランサーでやってきたからこそ、自分なりのフットワークを活かすことができる、といつの時もそう思っています。もちろん、どんな瞬間もリスクがあり、楽じゃありませんが、豊かに楽しく生きていきたい。オーストラリアの環境はそれをおおらかに、時に厳しくも受け入れてくれるような気がします。

Aki/小野一秋●フォトグラファー/CMディレクターとしての活動は30年以上、引っ越しの回数は22回。東京に大きな子ども2人と、シドニーに小さな子どもが2人。撮影で飛び回ることが多く、近年ではJAXAはやぶさ2やJALのカレンダーなどを手がける。そのかたわらで高級食パン店「AKIPAN」をシドニーのピアメントにオープン。

撮影業務:kazuakiono.com ベーカーリー:akipan.com.au



仏教語からできた 日本語 その200

渡部重信
Email hbma@optusnet.com.au
浄土真宗本願寺派〔西本願寺〕
オーストラリア開教事務所長



法律Q&A 弁護士に 聞いてみよう 185

主任弁護士 林由紀夫 (H & H Lawyers)

月の兎(うさぎ)

新年明けましておめでとうございます。今年はどううさぎ年ですね。

♪ 兎、兎なに見て跳ねる、十五夜お月さま見て跳ねる ♪

この歌は子供の頃口ずさみ、また、月の薄暗い影は月で兎が餅をついている姿だと教えられました。“月の兎”の物語は『今昔物語』(巻五)に紹介されていて、良寛はそれを万葉風の長歌にしています。その物語は、仏教思想の『ジャータカ／本生譚(ほんじょうたん)』に由来しています。この物語ではお釈迦様が前世でウサギ、サル、また国王であっても先の世では“菩薩”だったと言う話です。ジャータカ物語/図はインドでは紀元前一世紀頃に始まり、日本では七世紀初めの頃の法隆寺の玉虫の厨子、『捨身飼虎図』、『雪山童子施身聞偈図』で見ることができます。

22

“月の兎”の話は『今昔物語』では、「今は昔、天竺に兎・狐・猿、三(みつ)の獣ありて、共に誠の心を発(おこ)して菩薩の道(どう)を行ひけり」との出だしで始まります。この三匹は身をやつした老人を見て、猿は木の実を拾い集め、狐は川から魚を獲ってきて老人に捧げました。でも兎はあちこち探してもささげるものが何も見つかりません。そこで兎は猿に柴を刈ってもらい、狐にそれを焚いてくれと頼みました。そして何とわが身を燃える火の中に投げつけたのでした。捨身、つまり命を投げうった慈悲行を行ったのでした。その時老人は、帝釈天となり、「此の兎の火に入たる形を月の中に移して、あまねく一切の衆生に見せしめむがために月の中に籠(こ)め給ひつ。然れば、月の面(おもて)に雲の様なる物のあるは此の兎の火に焼けたる煙なり、亦、月の中に兎の有るといふは此の兎の形なり。万(よろづ)の人、月を見むごとに此の兎の事思ひいづべし」と言ったと示されています。

この話は、兎の捨身の心、慈悲行を物語っていて、ここから月の影が兎であると言われる由縁となっています。手塚治虫の『ブッダ』も物語はこの兎の話から始まっていて、初めて読んだ時、こんな凄まじい慈悲行が伝えられていることにとても驚かされ、自分を捨て他人の為にすることについて考えたことを昨日のこのように思い起こすことです。今年も縁ある皆様は幸せに過ごせるよう願っています。 合掌

Q: 私は再婚し、現夫との間の小学生の子供2人、前夫との間の息子(16歳)と5人で生活しています。最近夫と16歳の息子の仲が上手くいっておらず、息子は家を出ると言い出しています。私に万が一のことがあった場合、息子にも他の二人の子同様に相続権利があるのか心配です。私の主な財産は、私名義の銀行預金、スーパーアニュエーション、現在住んでいる家、数年前に投資物件として買ったアパートです。不動産は共同名義です。16歳の息子にも私の財産を相続させることはできますか？

A: 相談者のように夫婦の一方あるいは両方が再婚で、前の結婚相手との間に子がいる家族構成を一般的に“Blended Family”といいます。Blended Familyにおいては相続が大変複雑になる可能性があり、場合によっては相続争いに発展してしまふことがあります。

初婚同士、または再婚であっても前の結婚による子供がいない夫婦の場合は、「一方が死亡したら生存している配偶者が全て相続する。双方ともに死亡したら、子らが相続する」という遺言書を双方で遺すのが一般的で、相続問題は稀です。しかしBlended Familyの夫婦が同様の遺言書を遺すと、夫婦の一方が死亡した場合、生存した配偶者がすべての遺産を相続することになり、その後、遺産をどう相続させるかは、その配偶者によって決められ、実子以外の子の権利を排除して、「全ての遺産は実子が相続する」という遺言書を遺せることとなります。

相談者の場合、例えば「私が死亡したら、私の遺産の16.6% (50%は配偶者、残り50%を3人の子らが均等に相続する)を前夫との間の子に相続させる」としておけば、このような状況を回避することはできます。しかしながら、その16.6%をどのように相続させるかという問題は残ります。例えば、遺産の16.6%相当の価値の分配のためには不動産の売却が必要になってしまうかもしれません。遺言書の中で、「配偶者が生存中または、自宅を売却するまで、無償で自宅に住ませる」というような権利を配偶者に残すことは可能です。なお、留意しなければならないのは、不動産の共同名義の登録が、Joint Tenancyというものであれば、自動的にその権利は遺された共同名義者に移ってしまいます。

一般的に、アンフェアと思われる遺言書に関しては(場合によっては遺言書の無い法定相続の場合であっても)、“Family Provision”という日本の遺留分制度に似た制度がオーストラリアにもあり、除外されたと思う相続人は、その権利が保証される場合があります。相続争いのリスクを避けるためにも、専門家のアドバイスを十分に受けた上で遺言書を用意することを強くお勧めします。

アレルギー性鼻炎

アレルギー性鼻炎は季節周期性のものもあれば、一年中症状が続くタイプもあります。季節的なものは枯草熱 (Hay fever) ともいいます。また、20~30%の場合、アレルギー性ではないものもあります。(Vasomotor rhinitis といいます。)

症状

- *くしゃみ、鼻水、鼻づまり、後鼻漏
- *目、喉、鼻のかゆみ
- *喘息、副鼻腔炎、閉塞性の障害などがあれば咳、顔面の痛み、いびき、睡眠無呼吸症、無嗅覚症、怠さ、眠気などの症状もおこることがあります。

もしひどい喉の痛み、発熱、頭痛、色のついた鼻水などがあればアレルギー性鼻炎ではなく風邪やインフルエンザかもしれません。

検査

アレルギー抗原を確認するための検査は皮膚に抗原をつけて皮膚反応をみる検査 (Skin prick test) と血液検査で抗体反応をみるRASTという検査の2種類ありますが、生活のパターンを観察するだけで抗原をつきとめることも可能です。

引き金となる要因

実際にアレルギー反応をおこすものと、単に鼻の粘膜を刺激してくしゃみをおこすものとがあります。

- *アレルギー原
 - ・花粉
 - ・動物(犬、猫、馬)
 - ・かび、イエダニなど
- *刺激原
 - ・ほこり
 - ・食べ物(乳製品、辛いもの、ワイン)
 - ・食品添加物
 - ・薬
 - ・香水
 - ・あらゆるスプレー
 - ・たばこの煙、空気汚染、気候変化など

対処法

できる限り刺激原とアレルギー原を避けることです。特に家の中のほこりやイエダニを少なくすることは大切です。

- *絨毯を取り除き、板、ビニール、あるいはコークの床にする。もし絨毯を取り除けない場合は週に1回は掃除機をかける。(なるべくHEPA filterのついている掃除機を使用する。)
- *家具はソフトなカバーでほこりのたまりやすいものを避ける。
- *Soft toyは定期的に55℃以上の熱湯で洗うようにする。

暮らしの医療

ドクター・鳥居
Northbridge Family Clinic



- *マットレスや枕は皮膚落屑やイエダニに対して不透透性のカバーをする (Allergend、Allersearch、Miteguard) (皮膚落屑はイエダニの食料となる。)
- *カビが繁殖しにくいように家の中の空気の通りをよくする。
- *シーツは55℃以上の熱湯でよく洗う。電気毛布や毛布はよく日光にあて、掃除機もかけるようにする。
- *動物のなかでも猫は特にアレルギーをおこしやすく、はっきりと猫がアレルギー原である場合は猫は飼わない。猫の抗原は毛ではなく唾液に含まれていて、蒸発した唾液は室内に半年まで残っていることもあります。
- *屋外の花粉を避けるのは困難ですが、風の強い日の外出を避ける、芝刈りを避ける、外で芝刈りをしているときには窓を閉める、花粉の多い季節には長期間外に出ない、外出の前に抗ヒスタミンを服用するなどということに注意をしてみれば、いくらか症状を軽減できます。

薬品治療

おもに使われるのは抗ヒスタミンの経口薬と鼻に使うステロイドのスプレーです。

*抗ヒスタミン剤

Claratyne、Zyrtec、Telfast が代表的な薬で処方箋がなくても薬局で購入できます。どの薬も眠気をおこすことはありませんが、妊娠中の安全性は確立されていません。古いタイプの抗ヒスタミンで使えるものもありますが、眠気がおこるかもしれません。

*ステロイド

鼻づまりもおこっているならステロイドのスプレーも必要です。即効性はないので2~3週間は続けてみるのが大切です。体内への吸収はほとんどありませんので、ステロイドの副作用を心配する必要はまずありません。Dymista、Ryaltris、Nasonexなどが代表的な薬です。処方箋は必要です。

編集後記

▼12月に家族で久々に日本に行ってきました。僕は今年すでに7回目でしたが、家族3人では3年ぶり。いまだに屋外でもほとんどの人がマスクをつけており、カードの支払い方法や各種手続きなど様々な面で遅れていると感じる日本ですが、その食はやはり素晴らしい。レストランでも居酒屋でもコンビニの食べ物でもどれもが美味しい。そしてオーストラリアではなかなかできないスキーや温泉も満喫し、日本だからできる奥深い買い物も久々に楽しめました。2023年はさらに日本での活動を増やしていきたいと実感しました。(Jun)

シドニー日本クラブ役員

名誉会長	徳田 修一(在シドニー日本国総領事)
相談役	Chalker 和子
会長	Costello 久恵
副会長	松隈 由紀子
副会長	水越 有史郎
理事	阿部 直子
理事	川上 正和
理事	斉藤 なお子
理事	Hodgkinson 恭子
理事	堀田 興志
理事	Murn 薫
専門理事	林 さゆり(親睦の会会長)
専門理事	渡部 重信(編集委員会編集長・事務局長)
専門理事	Costello 久恵(シティ校代表)
専門理事	小柳 淳子(ダンダス校代表)
専門理事	水越 有史郎(教育支援委員会・エッジクリフ校代表)
事務局	渡部 重信(事務局長)・Richter 幸子(会計)
監事	岩佐 いずみ(会計監査)・多田 将祐(会計監査)

クラブ代表 シドニーソーラン踊り隊(渡部 重信)
JCSフラアロハ(Gault 良子)
ソフトボール部(加藤 雅彦)

編集委員会 渡部重信(編集長)・水越有史郎・西牟田佳奈・佐藤薫・大塚藤子・林由紀夫・多田将祐・マーン薫・坂口 潤・斉藤なお子・大塚るる・松下友紀



シドニー日本クラブ(JCS)は、オーストラリアに住む日本人および日系人家族の親睦を図り、オーストラリア社会の一員として日本文化の定着とその維持に努め、また他の諸民族の人たちとの相互理解の向上を図ります。

本誌のカラー版は、電子版をダウンロードしてください。

www.japanclubofsydney.org

JCS 40周年 1983 ▶ 2023



投稿原稿募集!

編集から

会員の方の生の声を募集しています。本誌を読んだ感想や、誌面に対する注文、会に対しての要望、日頃

感じていることなど、何でも構いません。皆さんからの率直なご意見や、誌面に対する感想などが、今後の誌面作りに多いに役立ちます。また、絵や写真、詩、俳句、短歌などでも構いません。お気軽にお寄せください。

原稿は、趣旨を変えない範囲で手を加える場合があります。文字数は最大1000文字です。投稿原稿は、誌面や内容、時期などの都合により掲載を見合わせる場合がありますので、ご了承ください。

告知板について

「告知板」は会員の方が「売ります」「買います」「教えます」など、個人の広告を掲載するコーナーです。会員の方なら、一回に限り無料で掲載できますので、ご利用下さい。

いずれも原稿は、以下宛に送ってください。

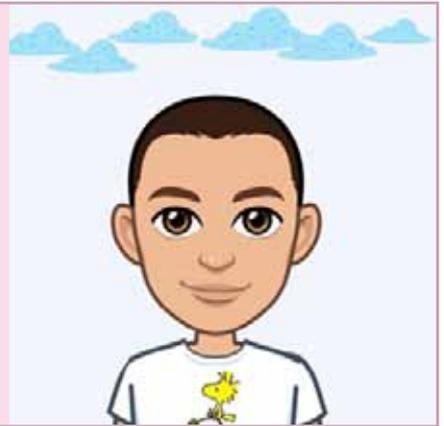
Email: jcs@japanclubofsydney.org

●今月の表紙

Australia Rockからの日の出を狙ってNaroomaへ

平日で、しかもあいにくの曇り空にもかかわらず思いの外、同志が多数、オーストラリアでは日の出を楽しむ文化はないと聞いていたがSNSの効果はすさまじい。オイスターをはじめシーフードも美味、野生のアザラシも間近で見ることができるサウスコーストの定番観光スポットです。

プロフィール ペンネーム: Woodstock。オーストラリア駐在歴4年。日本では味わうことのできないオーストラリアの壮大な自然を観に行くのが好きで、仕事の休みを利用して旅をしています。



エーブルネット(携帯電話会社)

Suite 29, Level 17, 329 Pitt Street Sydney 2000

Phone: 02-9264-9601

Email: info3@able.net.au WEB: <https://able.net.au>

①【オーストラリア国内サービス】格安SIMプラン:7GBで月額\$30、10GBで月額\$37。

②【日本向けサービス(日本帰国時に)】オーストラリアで受取り・返却&購入で日本到着後すぐネットが使える。

【日本向けポケットWiFi】2週間以上レンタルすれば、よりお得に!

【日本向けデータSIMカード】ご自身のアンロックされたスマートフォンにSIMを入れれば、日本でそのままネットが使える便利なサービス。

★詳しくは、WEBをご確認ください!

会員特典

JCSの会員の皆さんが受けられる特典です。

ぜひ、ご利用ください。

甘利会計事務所

Amari Tax & Accounting

Suite 1003 Level 10, 84 Pitt Street, Sydney 2000

Phone: (02) 9223-7448

E-mail: info@taxjp.com.au

新規顧客に特典

JCS会員の皆様のタックス・リターン申請・作成に当たり、料金から15ドルを割引いたします。お支払いの際にこのクーポンをご提示下さい。同時にお二人以上で申請される場合にも、1枚で全員に適用できます。

プラネットヘア(日本人美容室)

Level 2, 61 Market Street, Sydney 2000

Phone: (02) 9267-4881

JCS会員の方は平日15%Off、土日は10%Offになります。

また、平日2時までに2人以上で来店の場合20%Off(カットは15%Off)。日本の器具、商品を使用していますので、安心して来店ください。特に白髪染めは植物100%のヘナを使用し、パーマは髪のコシがない方には十仁パーマをお勧めします。詳しくはwww.planethair.com.au/jp/を見てください。

ほんだらけフル・オブ・ブックス

Level 2, 39 Liverpool St, Sydney 2000

Phone: 02-9261-5225 Email: hondarake@gmail.com

Website: <http://fullofbooks.com.au>

シドニー最大の日本古書籍買取・販売店。海外にいても手軽に日本の本・CDなど選べるうれしい店内在庫約8万点をご用意しています。買取も随時受付中。

このクーポンをご提示のJCS会員の方へ、本・CD・DVDのお買上を5%特別割引いたします。(※セール商品や化粧品など一部除きます。尚、クーポンは原本のみ。コピー不可とさせていただきます。)

Rumiko's Creation ROCOMI Beauty Circle

Mobile: 0402-178-519

お肌の敵、乾燥や紫外線…みなさん、毎日のスキンケアはどうしていますか?

きれいで健康なお肌は、健やかな毎日の“ビタミン美”…和漢植物エキス配合の薬用化粧品をぜひお試しください。

店頭では手に入らない日本からの直輸入品です。

★JCS会員特典:初回ご購入の際に、ご購入合計金額より5%割引。さらに洗顔時の必需品、ソープネットをプレゼント!お気軽にご連絡下さい。

日本ブレンセンターオーストラリア(NBCA)

Suite 23, 9 Milray Street, Lindfield 2070

Phone: 0404-027-407

Email: yamaguchi@nbca.com.au www.nbca.com.au

担当:人材 加藤、ビザ・翻訳 山口

ビザ・市民権の申請、オーストラリアの出国許可、移民局に提出する戸籍謄本と書類の英語への翻訳をJCSの会員の皆様には20%割引で承っております。長期短期の人材紹介及び人材登録をきめ細かくお世話させていただいております。皆様のご連絡をお待ちしております。

そらまめ

Email: classes@soramame.com.au

www.soramame.com.au

Mobile: 0402-961-907

そらまめは、マクロビオティックのクッキングクラスや個人の献立プラン、コンサルテーションも承ります。JCS会員の方には、クッキングクラスとコンサルテーションの費用から1名様\$10割引をいたしますので、お申込みの際にお知らせください。お申込み、お問合せはウェブサイト、またはEmailでお気軽に♪

JCS事務局連絡先

本誌やJCSに関するお問い合わせは、Japan Club of Sydney Inc.
PO Box 1690, Chatswood NSW 2057 電話:0421-776-052 (9時~18時)
Email:jcs@japanclubofsydney.org (渡部重信) まで。

JCSだより原稿送付先

原稿は毎月15日迄に、渡部編集長宛に、またはJCS事務局宛に、
Email(jcs@japanclubofsydney.org)か郵送にてお送りください。

入会案内

入会をご希望の方は入会申込書に必要事項を記入のうえ、入会金と年会費を添えて
JCS事務局までご返送ください。入会申込書はウェブサイトからダウンロードできます。

- ①入会申込書に、入会金 \$33 と年会費 \$70 (+ 発送費 \$15) の合計金額の小切手を添えて、事務局までご送付下さい。現金は受け付けておりません。海外会員・法人会員の場合は入会金なし、年会費 \$110 (GST 含む) のみです。
- ②入会金及び年会費の銀行振込は、以下の口座宛にお願いいたします。その際、必ず名前をお知らせください。
- ③住所・家族構成に変更があった場合は、会報送付の宛名用紙の「登録事項変更届」に記入のうえ、事務局までお送り下さい。または、メールにてお知らせください。(Email : jcs@japanclubofsydney.org)
- ④入会金・年会費は変更される場合があります。

If you want to join the JCS, please fill in the application form and send it with an appropriate cheque to: Japan Club of Sydney PO Box 1690, Chatswood NSW 2057. If you have any queries, please call on 0421-776-052.

- (1) Please fill out the form & send it to the address above with a cheque or money order for the joining fee \$33, the annual membership fee \$70 plus Postage \$15, total \$118 (inc.GST). DO NOT send cash. For overseas members or corporate members there is no joining fee but the annual membership fee is \$110.00 (inc.GST).
- (2) For EFT payment, please pay the bank transfer of joining fee and annual fee to the following bank account. In that case, please be sure to let us know your name.
- (3) Should there be any change in your address etc, please let us know without delay c/- the above address or email to us.
- (4) Please note that both the joining fee & the annual fee of the Club are subject to change without prior notice.

JCSだより広告案内

広告締切は毎月15日です。広告(そのまま掲載できるアートワーク)を、
PO Box 1690, Chatswood NSW 2057まで送付ください。

広告スペース	広告サイズ	料金 (1回のみ)	会員割引料金 (1回のみ)	会員割引料金 (6~11ヵ月)	会員割引料金 (12ヵ月以上)
1 ページ	横18cm×縦25.5cm	\$ 220.00	\$ 176.00	\$ 154.00(月額)	\$ 132.00(月額)
1 / 2 ページ	横18cm×縦12.5cm	\$ 132.00	\$ 99.00	\$ 88.00(月額)	\$ 77.00(月額)
1 / 3 ページ	横18cm×縦8.2cm	\$ 99.00	\$ 77.00	\$ 66.00(月額)	\$ 55.00(月額)
1 / 6 ページ	横8.7cm×縦8.2cm	\$ 55.00	\$ 44.00	\$ 38.50(月額)	\$ 33.00(月額)
折り込みチラシ	A 4 サイズ以内	\$ 440.00	\$ 330.00	※非会員の継続掲載にも、継続掲載割引があります。	

「JCSだより」では皆様からの広告を募集しています。本誌は会員に直接送付されますので、格安な料金で浸透力のある広告効果が得られます。お申し込みの際は、上記のサイズ・期間・料金を明記の上、掲載する完全な広告原稿(正しい広告サイズで、読みやすくはっきりと仕上がったアートワークまたはデータ)を、事務局宛に郵送もしくはメールでお送りください。銀行振込は以下の口座宛にお振り込みください。締切は毎月15日必着です。チラシの同封は、A4サイズ以内で印刷されたものを、部数分ご用意ください。※広告内容が本誌に相応しくないと判断した場合、掲載をお断りすることがあります。ご了承ください。

※JCSでは本誌掲載の広告内容に関しては一切責任を負いかねますので、その旨ご了承ください。

●入会金・会費・広告料金のお支払方法●

■会費納入届または広告原稿を小切手と共にJCS事務局まで郵送する場合

小切手の宛名は「Japan Club of Sydney Inc.」をお願いいたします。

郵送先: Japan Club of Sydney, PO BOX 1690, Chatswood, NSW, 2057

■会費納入届または広告原稿を郵送またはメールで送り、会費を銀行振込する場合

振込時に、登録会員名(フルネーム)と電話番号をDescription/Reference欄に必ず入力して下さい。

お名前がない場合は、支払い元不明で未払い扱いになるためご注意ください。

振込先 Account Name: Japan Club of Sydney Inc. BSB No: 032-002 Account No: 51-3156